

3・1ビキニデー70年

宗平協主催 焼津市弘徳院で

核廃絶願い行進と墓前祭

太平洋のヒキニ環礁で、丸が被曝してから70年をアメリカが水爆実験を行ってきた1日、第五福竜丸が所属していた焼津港の



焼津漁港近くを行進する墓前祭の参加者たち

ある静岡県焼津市で「被災70年ー3・1ビキニデーー久保山愛吉墓前祭」が執り行われた。主催は日本宗教者平和協議会(宗平協)。



久保山さんの墓前に献花する海外参加者(帽子姿)

墓前祭は、焼津駅前から約1千人が参加し弘徳院まで約1時間かけて行進した。

地元の日蓮宗伊豆国撃鼓伝道隊5人も行進に加わり、力強く団扇太鼓とお題目を轟かせた。数年來、続けて参加している同隊の佐治寿英前隊長は、「少しでも世界が平和

ら「原水爆の犠牲者は私を最後にしてほしい」と言い遺して、およそ半年後に死去した漁船員の久保山さんが眠る曹洞宗弘徳院(松水芳信住職)までの平和行進で始まった。先頭の横断幕のすぐ後ろには主催する宗平協メンバーが並び、行進をリードした。「核兵器のない世界」を願う被爆者団体や市民団体などか

弘徳院では、本堂横に特設テントが設営され、久保山さんの位牌や遺影を安置。松水住職の読経により、代表者が焼香した。久保山さんが好んだ赤いバラを手にした行進参加者は順次墓前まで石段を登り、バラを供え、焼香して追悼した。

読経後、松水住職が挨拶。前夜の雨が止んだことから、「天気に恵まれたうえ、70年ということで大勢の方にご参加いただき、久保山氏もさぞかし喜んでいいることと思います。今日一日、有意義な日にしていただきました

い。ご苦労さまでした」と感謝とねぎらいの言葉を贈った。

第五福竜丸平和協会顧問の山本義彦氏は、「70年の間に久保山さんの思いを生かす運動は広島、長崎をはじめ人々の核兵器反対の心に引き継がれ、ついに2017年核兵器禁止条約が採択されるにいたった」と説明。現在、世界93カ国・地域が署名し、70カ国・地域が批准していると報告

し、「唯一の被爆国である日本は、最低でも締約会議にオブザーバー参加を」と訴えた。続いて各界代表による誓いの言葉。宗教界からは日本山妙法寺の武田隆雄氏が発言し、「平和を叫び、祈り、行動し続けていけば必ず核兵器のない平和な世界を実現することが出来る。平和の原点、久保山愛吉さん、妻

のすずさんの平和の思いと共に祈り、行動することを誓う」と表明した。

宗平協主催による久保山さんの墓前祭は今回で60年を迎えた。